

募集人員	各専攻 若干名
受付期間	2019年5月22日(水)～5月29日(水)
試験日	2019年7月10日(水)
合格発表日	2019年7月19日(金)10時
入学手続締切日	2019年8月7日(水)
出願資格	次のいずれかの条件を満たす者で、出願に先立ち、志望専門分野の指導教授と事前面接を終了し、推薦を受けられる者 (1) 2020年3月に大学の修業年限4年の学部学科を卒業見込みの者で、3年次までの成績が優秀で意欲のある者 (2) 2019年3月に大学の修業年限4年の学部学科を卒業した者で、在学中の成績が優秀で意欲のある者 ※本学専願者として取り扱います(他大学との併願はできません)。
選抜方法	志望専門分野指導教授の推薦を受け、獣医学系研究科長が承認した者は、学力試験を免除し、書類審査及び面接試験により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。 注：疾病などのために本学の教育の目的に即した履修に耐えないことが、入学後の保健指導等を考慮してもなお明白な場合は入学を許可しません。
出願書類	(1) 入学願書…本大学院所定用紙(志望専門分野指導教員の署名・捺印を受けたもの) (2) 履歴書…本大学院所定用紙 (3) 名票・検定料納入票・受験票…本大学院所定用紙 (4) 成績証明書…出願前3カ月以内に発行されたもの (5) 卒業(見込)証明書…出願前3カ月以内に発行されたもの (6) 志望理由書…本大学院所定用紙 (7) 志願者の健康に関する自己申告書…本大学院所定用紙 ※この書類は、学業等学生生活を送るうえでの健康管理上注意すべき事項を事前に申告してもらい、入学後、大学が積極的に学生生活を援助するための資料となります。 (8) カラー写真2枚…縦4cm×横3cm、正面上半身脱帽で出願前3カ月以内に撮影した同一のものを入学願書及び名票に貼付してください。 (9) 入学検定料…20,000円(郵送の場合は郵便為替に限り。なお、指定受取人欄は無記名としてください。) (10) 返信用封筒…郵送による出願者のみ、受験票の送付に使用しますので、本人の宛名を記載したものを提出してください。(切手不要)
入学願書等記入上の注意	(1) 黒インク(ボールペン可)を使用し、楷書ではっきりと記入してください。 なお、指定がある場合を除き、所定の様式に印字することも可とします。 (2) 外国人については住民票等記載の本名を記入してください。 (3) 出願書類の記載事項に虚偽があったときは入学を取り消します。 (4) 出願書類が不備なものは受け付けません。
出願方法	出願書類に入学検定料を添え、所定の期日までに本研究科入試係に郵送又は直接提出して受験票の交付を受けてください。 (1) 出願書類及び入学検定料を郵送する場合には、本学ホームページからダウンロードした出願用宛名ラベルを角2封筒に貼りつけ、必ず簡易書留・速達として送付してください。 (締切日必着)

	<p>※出願書類を郵送した者には受験票を送付します。なお、受験票が未着の場合は試験前日までに本研究科入試係で直接受け取ってください。</p> <p>(2) いったん受理した書類及び入学検定料は一切返還しません。</p>				
願書受付場所	<p>〒034-8628 青森県十和田市東二十三番町 35 番 1 号</p> <p>北里大学大学院獣医学系研究科 入試係 (獣医学部事務室内)</p> <p>☎ 0176 (24) 9401</p> <p>[受付時間] 土曜・日曜・祝祭日を除く 9:00~11:10, 12:10~15:00</p>				
試験場	北里大学十和田キャンパス 獣医学部校舎 (青森県十和田市東二十三番町 35 番 1 号)				
時間割	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>受験生集合</td> <td>9:10</td> </tr> <tr> <td>面接試験</td> <td>9:30~</td> </tr> </table>	受験生集合	9:10	面接試験	9:30~
受験生集合	9:10				
面接試験	9:30~				
受験上の注意	<p>(1) 受験票は必ず携帯してください。</p> <p>(2) 面接試験の遅刻は一切認めません。</p> <p>(3) その他試験監督者、係員の指示に従ってください。</p>				
合格発表	<p>(1) 獣医学部校舎内掲示板に合格者の受験番号を発表します。</p> <p>( 掲示期間：発表日から入学手続締切日の17時まで)</p> <p>(2) 合格者には受験票と引き換えに、合格通知及び入学手続書類を交付します。</p> <p>来学できない合格者には郵送します。</p> <p>(3) 合格についての問い合わせには一切応じません。</p>				
入学手続	<p>(1) 合格者は入学手続締切日までに所定の入学手続書類を提出するほか、学費を納入 (銀行振込) して入学手続を完了してください。</p> <p>(2) 入学手続に必要な書類</p> <p>①入学手続書類 (本大学院で交付するもの)</p> <p>②住民票記載事項証明書 (本大学院所定用紙), 外国人は住民票の写し (国籍等, 在留資格, 在留期間, 在留期間の満了日, 氏名のカタカナ表記, 通称履歴, 在留カード・特別永住者証明書番号等が記載されたもの)</p> <p>③カラー写真5枚 (縦4cm×横3cm, 正面上半身脱帽, 最近3カ月以内に撮影した同一のもの)</p> <p>④卒業証明書 (見込みの場合は卒業後に提出)</p> <p>(3) 学費</p> <p>84頁の「2020年度学費一覧」を参照してください。</p> <p>(4) いったん受理した入学手続書類は一切返還しません。</p> <p>(5) 入学手続を完了した者には、入学許可証を発行します。</p> <p>(6) 推薦入学の場合、本学専願者として取り扱いますので、入学手続を完了した者は、やむを得ない理由 (病気や怪我等で就学が困難になった場合) と本学が認めた場合を除き、入学を辞退することができません。</p> <p>上記の理由に該当すると思われるときは、次の期日までに所定の入学辞退届に本学発行の入学許可証及び必要書類を添えて、本学の審査を受けてください。やむを得ない理由と本学が認めたときは、入学金以外の納付金を返還します。理由が適格を欠くとき及び締切日時以降の申し出については、一切返還しません。</p> <p>○入学辞退申し出締切日時 2020年3月31日 (火) 17:00 <b>必着</b> (郵送又は持参)</p>				
入学式日時場所	入学手続完了者に追って通知します。				
学位	修士 (農学)				

授業科目及び  
募集専門分野

21頁からの「獣医学系研究科修士課程の授業科目」及び「獣医学系研究科修士課程の募集専門分野」を参照してください。

お問い合わせ先

〒034-8628 青森県十和田市東二十三番町 35 番 1 号

北里大学大学院獣医学系研究科 入試係（獣医学部事務室内）

☎ 0176 (24) 9401

獣医学系研究科修士課程の授業科目

【動物資源科学専攻】

2019年4月1日現在

主 科 目	関 連 科 目	
動物生殖学特論及び同特別実験実習 動物飼育学特論及び同特別実験実習 動物栄養学特論及び同特別実験実習 食品科学特論及び同特別実験実習 環境生物化学特論及び同特別実験実習 細胞工学特論及び同特別実験実習	畜産環境経済学特論 草地生態学特論 緑地環境学特論 野生動物学特論	動物生理学特論 動物感染予防学特論

獣医学系研究科

【生物環境科学専攻】

2019年4月1日現在

主 科 目	関 連 科 目	
農地環境学特論及び同特別実験実習 緑地環境学特論及び同特別実験実習 水環境学特論及び同特別実験実習 野生動物学特論及び同特別実験実習 生物環境情報学特論及び同特別実験実習	環境土壌学特論 草地生態学特論 水資源環境学特論 環境修復学特論 環境情報学特論	農業施設計画学特論 畜産環境経済学特論 生物資源循環学特論

獣医学系研究科修士課程の募集専門分野

【動物資源科学専攻】

2019年4月1日現在

専門分野	指導教授	研究内容
動物生殖学	(未定)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 哺乳動物の体外卵成熟・受精・胚培養技術の高度化</li> <li>2. ウシ胚における庭先胚移植を可能にする実用性ガラス化法の開発</li> <li>3. 哺乳動物初期卵胞の体外発育培養技術の開発</li> <li>4. 精子走化性物質の同定とその応用技術の開発</li> <li>5. 精子受胎能に関連する因子の解明</li> <li>6. 家畜における顕微授精技術の開発</li> </ol>
動物飼育学	寶示戸雅之	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有機的管理による資源循環型牧場の物質循環に関する総合的解析</li> <li>2. 日本短角種を利用した公共草地の再生法</li> <li>3. 肉用牛の微量ミネラル欠乏の改善方法</li> <li>4. 放牧と自給粗飼料100%で生産された肉用牛の骨格筋及び内蔵組織の特性解析</li> <li>5. 放牧が家畜の健康性に与える影響—免疫獲得機構の解明</li> <li>6. 反芻動物の消化機能調節機構</li> <li>7. 反芻動物の成長にともなう消化機能の発達</li> <li>8. 動物福祉を考慮した飼育方法及びトレーニング方法の開発</li> </ol>
動物栄養学	黒瀬 陽平 濱野 美夫	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家畜・家禽における食欲調節メカニズムの解明</li> <li>2. 成長及び代謝調節における味覚受容体の役割</li> <li>3. 哺乳類の成長並びに代謝に対する特定波長光照射の影響</li> <li>4. 家禽の消化管における栄養素の消化吸収機構に関する研究</li> <li>5. 家畜・家禽におけるミネラル及びビタミン様物質による代謝調節機能とその実用的用途に関する研究</li> <li>6. 生体のストレス緩和から食肉呈味品質の改善にまで及ぶ機能成分・特殊飼料の研究・開発</li> </ol>
食品科学	有原 圭三	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳・肉・卵を主原料とする機能性食品の開発</li> <li>2. 食品タンパク質由来ペプチドの保健的機能の解明</li> <li>3. メイラード反応により生成する香り成分の探索</li> <li>4. ペプチドを利用した機能性ペットフードの開発</li> <li>5. プロバイオティック乳酸菌の畜産食品への応用</li> <li>6. 微生物等を利用した食品の安全性向上技術の開発</li> </ol>
環境生物化学	向井 孝夫	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プロバイオティクス, プレバイオティクスの利用性に関する研究</li> <li>2. 消化管微生物の遺伝子発現調節機構</li> <li>3. 消化管微生物の免疫に関する研究</li> <li>4. 乳酸菌の酸素耐性機構の解明と分子育種</li> <li>5. ピロリ菌の生存戦略因子の解明</li> <li>6. 動物腸内微生物叢の解析</li> </ol>
細胞工学	久保田浩司	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生殖系列幹細胞の自己複製と分化の機序</li> <li>2. 雄性生殖幹細胞(精原幹細胞)の培養系の確立</li> <li>3. 精原幹細胞を利用した生殖系列操作技術の開発</li> <li>4. 多能性幹細胞から生殖系列幹細胞の誘導</li> <li>5. 哺乳動物の体外胚生産系の改善</li> <li>6. 発生・成長に影響する環境因子の栄養・生理学的解析</li> </ol>

【生物環境科学専攻】

2019年4月1日現在

専門分野	指導教授	研究内容
農地環境学	森 淳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Cd (カドミウム) 汚染土壌の修復に関する基礎的研究</li> <li>2. 農耕地における温室効果ガスの発生メカニズムに関する研究</li> <li>3. 水田の汎用化の促進と管理に関する研究</li> </ol>
緑地環境学	杉浦 俊弘	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 湿地の保全に関する草地生態学的研究</li> <li>2. 半自然草地における生物多様性の保全に関する研究</li> <li>3. 緑地生態系の物質循環に関する研究</li> <li>4. 高品質な生薬栽培に関する土壌肥料学的研究</li> </ol>
水環境学	樽屋 啓之	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 畜産を含む農業水域の水質水文学的研究</li> <li>2. 畑草地からの土砂流出と水質変動に関する研究</li> <li>3. 水環境中における溶存有機物の動態に関する研究</li> <li>4. 水田における水質環境と生息生物に関する研究</li> </ol>
野生動物学	進藤 順治	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 野生動物の比較形態学的研究</li> <li>2. 野生動物生息地における環境保全に関する研究</li> <li>3. 野生動物の生態及び遺伝的多様性に関する研究</li> <li>4. 野生哺乳類の個体数管理に関する研究</li> </ol>
生物環境情報学	田中 勝千	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 植生のリモートセンシングに関する研究</li> <li>2. 農業分野におけるユーグレナの利活用に関する基礎研究</li> <li>3. 光合成色素やリグニン分解酵素などの生体高分子の構造と機能に関する研究</li> <li>4. 草地植生の空間的不均一性と家畜行動に関する研究</li> </ol>